



徳島県の「総合土木職」について教えて！

“総合”土木とはどのような職種ですか？ 魅力は何ですか？

総合土木職は、道路、河川、港湾などの「社会基盤整備」と水田、農業用排水路、農道などの「生産基盤整備」において、施策立案・事業計画の策定から、公共工事の設計積算・施工管理、維持管理までの一連した様々な業務に携わります。「地図に形が残る」スケールの大きな仕事だけでなく、ライフラインの整備や食料生産を支える基盤整備等を通じて、県民の命と暮らしを守ることに繋がるのが大きな魅力です。

人事異動について教えてください。

企画立案や予算管理、事業計画策定等を中心とした職場や、公共工事の設計積算、施工管理等の現場に近い職場を概ね2、3年サイクルで異動します。特に採用当初は、幅広い経験を積んでもらう観点から、両職場を相互に経験できるよう配慮しています。主な配属先は、県土整備部と農林水産部になりますが、採用面接での希望を参考に配属され、人事異動を通じて両部を経験することも可能です。なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会を設けています。

給与について教えてください。

初任給は、月額 225,600 円(大学卒)です。

研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組はありますか？

国が主催する専門的な技術研修に参加できるほか、県の定期的な研修により、土木に関する知識が少なくても、基本から専門的な内容まで幅広く知識を身につけることができます。また、総合土木職の先輩職員や外部の講師による講義や実践的な実習、土木施工管理技士の資格取得に向けた勉強会、技術的課題や緊急に取り組むべき業務課題に対する業務発表会を開催し、職員の知見を深めています。

もっと「総合土木職」について知りたい！

令和7年度から採用試験の内容を変更しています。詳細はHPよりご確認ください！

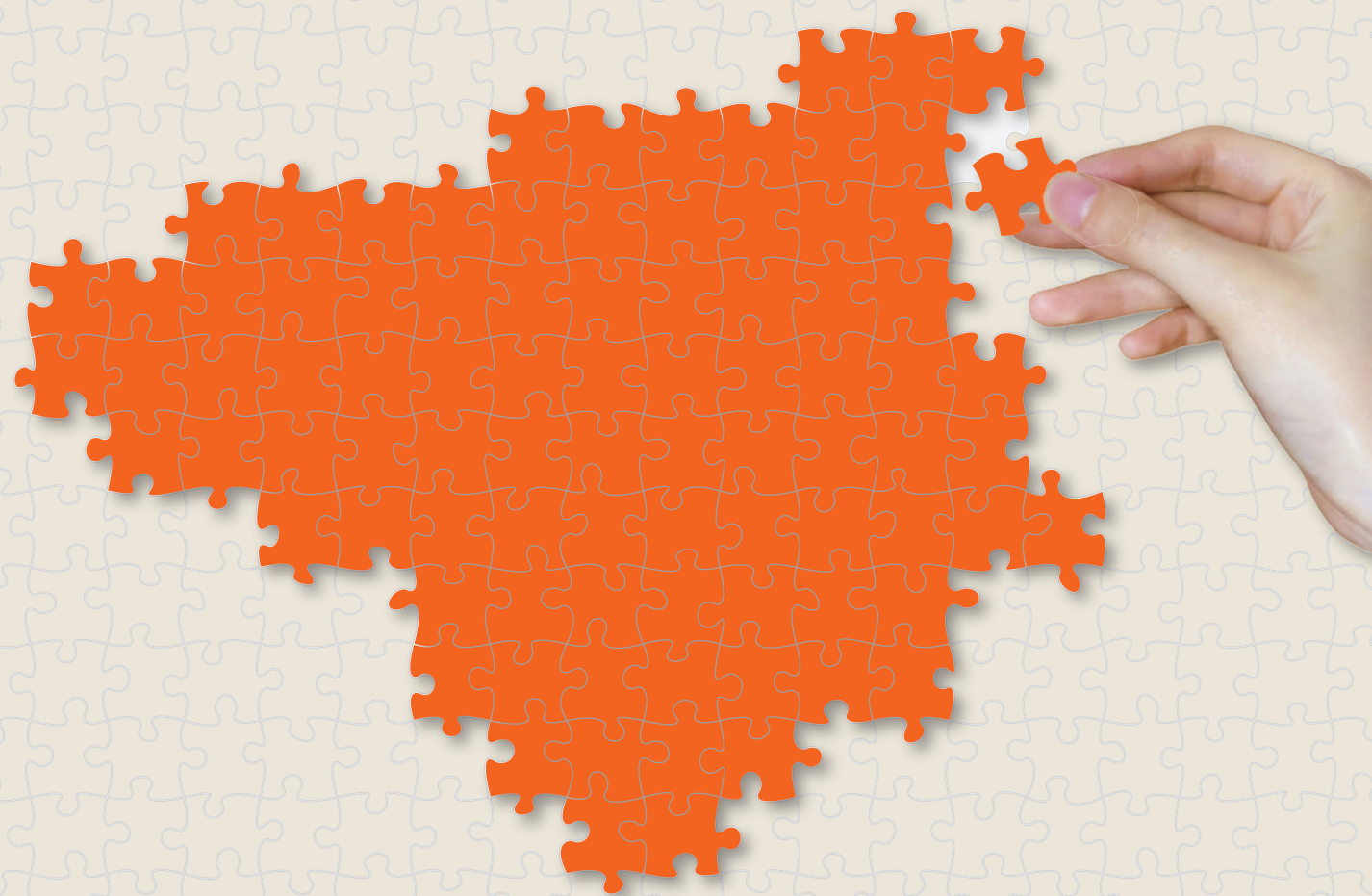


TOKUSHIMA

職員採用案内



総合土木職



総合土木職の業務に関する問合せ

徳島県農林水産部農山漁村振興課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁7階
TEL.088-621-2435 FAX.088-621-2859
✉ nousangyosonshinkouka@pref.tokushima.lg.jp

採用に関する情報・問合せ

徳島県職員採用ホームページ
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県県土整備部県土整備政策課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁8階
TEL.088-621-2516 FAX.088-621-2864
✉ kendoseibiseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

徳島県企画総務部人事課
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825
✉ jinjika@pref.tokushima.lg.jp

SNSでも情報発信中！



東部農林水産局＜徳島＞

それぞれの地域特性に応じた幅広い事業を実施

東部農林水産局＜徳島＞は、徳島県東部の13の市町村を管轄しています。私が担当する農業農村整備事業では、農業の持続的発展や農村の振興を図るため、農道や農業用排水路などの整備をはじめ、老朽化した施設の補修・更新や地すべり防止対策など、それぞれの地域特性に応じた幅広い事業を行っています。その他にも、事業を実施するための予算確保、設計、工事発注、関係機関や地元農家の方々との協議・調整、工事現場の監督指導のほか、市町村への補助金の交付事務など、業務は多岐にわたります。職場は若手職員も多く、近年は女性職員も増えています。私自身も約5ヶ月の育児休業を取得し、仕事とプライベートの両立ができる働きやすい環境です。



中村 亮祐 / Nakamura Ryosuke

東部農林水産局＜徳島＞ 主任主事
平成30年度入庁

〔所属歴〕

- 平成30年度：東部農林水産局＜吉野川＞
- 令和3年度：東部農林水産局＜徳島＞

▼ 管の埋設深さ確認の様子



INTERVIEW 01

完成した施設が利用されているところを目にしたときの達成感は農業土木ならではの

現在は、主に農地への用水の安定供給と水管理の省力化のためのパイプライン工事を担当しています。日々、現場監督として工事の受注者や関係機関、地元農家の方々との協議・調整を図りながら工事を進めています。パイプライン工事は地中に管を埋設するため、給水開始後に漏水などの不具合が無いように品質の確保が重要となります。工事完成に至るまでには苦労することもあります。地元農家の方から「事業をやってよかった」と感謝の言葉をいただいたり、実際にできあがった施設を利用しているのを目にしたときに得られる達成感は農業土木ならではのものです。地域に寄り添った業務に携わることにやりがいを感じます。

主な配属庁舎



INTERVIEW 03

重要な社会インフラの整備に携われることに強い責任感とやりがいを感じる

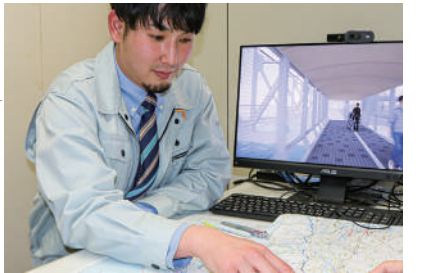
現在は、高速道路担当として、徳島自動車道の暫定2車線区間の早期4車線化を目指し、西日本高速道路（株）などの関係機関と日々協議や調整を行うとともに、必要な予算の確保に向けた財務省や国土交通省などへの要望活動、高速道路の利用促進のためのPR活動などを行っています。

南海トラフ巨大地震による大規模な災害の発生が予想される本県において、「県民の暮らしを守る」とともに、「経済産業の発展や観光振興を支える」重要な社会インフラの整備に携われることに、強い責任感とやりがいを感じ業務に取り組んでいます。

高規格道路課

道路課題の解決をはじめとする様々な事業を関係機関と協力して実施

高規格道路課では、国土交通省が整備を進める徳島南部自動車道・阿南芸芸自動車道や、西日本高速道路（株）が整備を進める徳島自動車道などの整備促進のための調整や要望活動を行っています。その他にも、徳島県の道路交通課題を解決するための計画の策定、大鳴門橋自転車道の整備をはじめとした自転車施策の推進、観光客の周遊促進や高齢者の移動手段確保のための自動運転施策の促進など、様々な事業を関係機関と協力し実施しています。また、吉野川に架かる多種多様な橋梁を紹介する「橋の博物館とくしま」のHP充実、県内外のイベント会場での高速道路の利用促進や、道路事業の重要性を伝えるパネル展の実施なども高規格道路課の仕事です。



鴨狩 諒 / Kamogari Ryo

高規格道路課 主任主事
平成29年度入庁

〔所属歴〕

- 平成29年度：東部県土整備局＜徳島＞
- 令和2年度：道路整備課
- 令和5年度：高規格道路課

INTERVIEW 02

現場担当者と課題を共有し解決に向けて進めていくために日々勉強

現在は、河川整備事業に必要な予算要求や予算の管理を担当しています。業務上、直接現場に行くことは少ないですが、現場の担当者と課題を共有し解決に向けて進めていくために勉強の日々です。事業の担当として、各河川での事業進捗や今後の計画を詳細に把握する必要があり、大変な部分もありますが、県内多数の河川事業に携わることができることに仕事のやりがいを感じます。職場は、豊富な知識と経験のある上司や気軽に相談できる同僚が多く、風通しの良い職場です。



岡 和樹 / Oka Kazuki

河川整備課 主任
平成26年度入庁

〔主な所属歴〕

- 平成26年度：南部総合県民局県土整備部＜阿南＞
- 平成29年度：河川整備課流域水管理推進室
- 令和2年度：西部総合県民局県土整備部＜三好＞
- 令和3年度：内閣府派遣
- 令和5年度：河川整備課

INTERVIEW 04

持続可能な「農業・農村」の実現に向けて

温暖な気候に恵まれた徳島県では、農業の発展のため、先人がその時代の技術を駆使して整備した「農地」や「農業用排水路」などにより、豊富な農産物が生産されてきました。しかし、地球温暖化による気候変動や、人口減少・高齢化が現実となった今、県民の生命を支える食料と豊かな自然空間を提供する「農業・農村」を次世代に引き継ぐことが、これまで以上に重要となっています。「農業農村整備」に関わる部署の強いチームワークで、持続可能な「農業・農村」の実現に向け、「農業生産基盤の強化」、「農村の振興」、さらには「農業・農村の強靱化」に、若手職員とともに取り組めることにやりがいを感じています。



太田 隆久 / Ota Takahisa

農林水産部 次長（農山漁村振興課長事務取扱）
平成元年度入庁

〔主な所属歴〕

- 平成元年度：川島農林事務所
- 平成12年度：阿南農林事務所
- 平成18年度：徳島農林事務所
- 平成27年度：農林水産基盤整備局農山漁村振興課
- 令和4年度：農山漁村振興課

気候変動による水災害に備えるため「流域治水」を推進

河川整備課では、県民の生命・財産を守り、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」の考え方のもと、浸水被害の防止・軽減に資する河川・海岸の整備を、自然環境や地域景観との調和を図りながら行っています。さらに、洪水をはじめとする水災害時に適切な対応が取れるよう「水防計画」を策定し、必要な資機材等を整備するとともに、水防活動や住民の避難行動を促す上で不可欠な雨量・水位等の観測情報を収集し、関係機関に伝達する等の水防に関する業務を行っています。

徳島県水防情報サイト



▲ 予算要求資料作成

河川整備課



▲ 田んぼの生き物調査(出前授業)

地域の皆様の声に耳を傾け現場目線で業務に取り組む

農山漁村振興課は、「農地の大区画化」など、農業農村整備事業の計画策定や、農業水利施設などを維持管理する「土地改良区」の指導、さらには、県土の約9割を占める「中山間地域」に人々が住み続けられるよう、農業生産基盤や生活環境基盤の整備に加え、「協働活動」の促進や、地域コミュニティの強化など、徳島県の「農業・農村」の振興・発展に向けた仕事を行っています。また、農林水産部が行う公共事業の予算編成や、農林土木工事に携わる職員を支える技術基準や設計積算、入札に関する業務のほか、大規模災害からの復旧・復興に不可欠な「地籍調査」も担当しています。様々な職種の職員が、地域の皆様の声に耳を傾け、現場目線で業務に取り組んでいます。

農山漁村振興課

※ 掲載内容は、令和6年1月現在のものです。